

特別企画

地域の特性を生かしたプログラムを実施するクラブ

一般社団法人アイランズスポーツクラブ 〈長崎県佐世保市〉

総合型クラブが地域に根差し、愛されるクラブとなり自立・自律するに至るためには、地域に定着・浸透することが必要となります。

そこで今回は、長崎県佐世保市にあるハウステンボスを生かしたプログラムを実施するクラブを紹介します。

1 クラブ概要

ハウステンボス周辺が活動拠点

アイランズスポーツクラブは、長崎県佐世保市のハウステンボス周辺に活動拠点を置き、地元長崎県におけるスポーツの更なる振興を目的とする総合型地域スポーツクラブです。ハウステンボスはオランダの街並みをモデルとしたテーマパークで、クラブハウスはハウステンボスワッセナー地区にあります。

地域に密着した活動を展開

幼児スポーツ、サッカー、ストリートサッカー、サップ(SUP&SUPヨガ)、陸上教室、グラウンドゴルフなど地域に密着した活動を通し、多くの方々にスポーツへの参加を促し、活性化を図ることを重点課題としています。会員数は約250人です。

私たちアイランズスポーツクラブは、青少年育成のために、次のような取り組みを行っています。

1. 多くの子どもたちに、スポーツと触れ合う場と機会を提供しています
2. 地域スポーツチームの活動支援を行っています
3. 普段スポーツと接する機会の少ない方々へ楽しむスポーツを普及します

2

ハウステンボスの特性を生かした取り組み

「ブルー・オーシャン」の発想を原点にクラブづくり

5年ほど前、ブルー・オーシャンという言葉に出会いました。よく調べているうちに、総合型地域スポーツクラブはある意味ここから始まったのではないかと考えるようになりました。

簡単に言うとブルー・オーシャンとは、「従来存在しなかった新しい領域に事業を展開していく戦略」「他社と競合することなく事業を展開することができる」ことを意味します。ブルー・オーシャン戦略の大きな特徴は、低コストと差別化を同時に実現する点です。

そこで私たちクラブは、今までとは全く違った発想で、次のようなクラブづくりをしていくことにしました。

1. クラブハウスの在り方は
2. その種目はその地域に適していて、競合相手はいないのか
3. 指導者の考え方は

この3つを主課題として、次のような展開を始めました。

1. クラブハウスの購入
2. SUP&SUPヨガ教室、ストリートサッカーの開設
3. スポーツを通じて非認知能力を育む幼児教育へのチャレンジ

サンディエゴでの光景と合致したのがハウステンボスワッセナー

20年ほど前でしょうか、米国はサンディエゴのスポーツクラブに行く機会がありました。日本では総合型地域スポーツクラブが産声を上げたころです。欧米では既にスポーツクラブが地域のコミュニケーションの場でした。スポーツをした後、急用がない限りクラブハウスに集まり、ビールやドリンクを飲みながらいろいろと雑談をしていました。私が参加したグループメンバーは、医師、大学教授、タクシードライバー、配管工の方々でした。日本では職場中心での飲食（飲み会）が多い中、皆さんが楽しくドリンク片手に会話をしていたことに大変驚きました。

サンディエゴで見たクラブハウスのイメージと私たちのイメージが一致した場所、そこはハウステンボスワッセナーでした。

「レッド」から「ブルー」へシフト 新たな教室を始動

私たちの住む地域ではいろいろなスポーツを実施している既存団体が混在します。ですが、ほとんどの団体が総合型地域スポーツクラブの存在を知りません。知ろうとしないと言っても過言ではないかもしれません。幾度となく総合型地域スポーツクラブの説明、参画を促しましたが、平行線をたどる状態でした。つまりレッド・オーシャン状態だったのです。そこで全く新しいスポーツ「SUP&SUPヨガ」と「ストリートサッカー」を取り入れました。ブルー・オーシャンへのシフトです。

【SUP&SUPヨガ教室】

さて、ハウステンボスワッセナーの運河で実施しているSUP&SUPヨガ教室について簡単に説明します。

ご存じでしょうが、SUPはサーフボードより大きめのボードに立ってパドルで漕ぎながら移動します。海や川などでもできるスポーツですが、クラブでは、あえて景色を楽しんでもらうために、クラブハウスからスタートし、隣接するハウステンボスの景色を楽しみながら約1時間で移動するコースを設定しています。さながらオランダの運河を旅している気分のように好評です。

【利点】

1. 競合相手がいない
2. 年齢、性別に関係なく誰もが楽しめる

【欠点】

1. トイレ、更衣室、シャワールームがない
2. 波の少ない場所を選ばなくてはいけない

この欠点を補うにはクラブハウスが近くにあると解決できることに気づきました。まさにハウステンボスワッセナーは最適な場所です。

【ストリートサッカー】

次に、ストリートサッカーについて説明します。

直径約5mの囲い(CAGE)の中で得点を競う競技です。試合時間は3分で、1人対1人で行います。極端なフィジカルコンタクトを禁止し、股抜き(PANNA)でノックアウトとなる特殊ルールで行われ、体の使い方や足技などのスキル、駆け引きが勝敗の鍵となる面白い競技です(日本ストリートサッカー協会HPより)。

この競技の起源は、まさにオランダの路地裏から始まりました。年齢や性別に関係なく、誰もが一緒に楽しめるスポーツです。

以前、商店街でイベントを行いました。行政や商店街の方々から、なかなか受け入れてもらえませんでした。「サッカーはボールを蹴るものだから狭い場所では危険」という固定観念から抜けきれません。そこで、私たちの地域にあるハウステンボスでのイベント開催を新たな目標にして、検討を進めています。

【子どもの運動教室】

最後に子どもの運動教室について説明します。

「非認知能力」という言葉をよく耳にしますが、アイランズスポーツクラブではスポーツを通じて「非認知能力」を育む指導へのチャレンジをしています。

「非認知能力」とは、コミュニケーション能力、課題解決能力、社会適応能力、やり抜く力などを総称する能力です。指導者はアトランタ、シドニー両五輪出場のオリンピックです。一つの種目にこだわらず、子どもたちに年間を通していろいろなスポーツを体験させ、自己肯定力、基礎運動能力、非認知能力の成長の手助けをしています。あえて答えは教えません。



SUP
クラブハウス裏運河で子どもと犬と一緒に



子どもの運動教室
答えを教えず、仲間で考え中



ストリートサッカー
商店街でイベント開催

3

各教室の活動、スポーツに親しむ契機に

SUP&SUPヨガ教室、ストリートサッカーおよび子どもの運動教室は、スポーツ離れをした人たちが新たにスポーツに関わろうとしている人たちの心をつかみました。SUP&SUPヨガ教室は、スポーツ実施率の低い30~40代の会員さんが中心です。ストリートサッカーは、子どもと大人と一緒に楽しめるスポーツです。場所も取らず、商店街などでもイベントを行い、徐々に人気が出ています。

スポーツを通じて非認知能力を育む幼児教育へのチャレンジにより、指導者の質の向上がみられます。

クラブハウスはコミュニケーションの場

クラブハウスには、コミュニケーションの場として多くの会員の方々や地域の人たちが集まります。SUPの後のBBQやストリートサッカーの会員さんのポットラックパーティー（料理を持ち寄って行うパーティ）に活用いただいています。

ハウステンボスワッセナー地区は別荘地です。常住者は約2割で、職業も会社経営者、医師、小学校教師や高校教師とさまざまです。全ての物件（家）の裏には運河があり、敷地も広く、生活音が聞こえない環境です。気軽にカヌーを楽しんだりしている住民の方もいらっしゃいます。SUPやカヌーを楽しんだ後、クラブ会員さんのみならず、みんなでBBQやポットラックパーティーで交流を深めています。まさにサンディエゴのクラブハウスの再現です。総合型地域スポーツクラブを違った観点から垣間見ることができます。

【会員の方の声】

- ここでスポーツができるなんて、なんて素晴らしいことだろう。
- 背景が素晴らしい。
- スポーツの後のこんな風な楽しみ方があるのですね。
- 日本にこんなところがあったなんて、夢の世界じゃないよね。

【事務局から】

「クラブ会員ではないご近所さんもポットラックパーティーに参加されます。会員さんとのスポーツやライフスタイルの話題で盛り上がります。総合型クラブの運営にも興味を示していただけると嬉しいです。」



クラブハウスでのポットラックパーティー

4

「時間がない」→「時間をつくって」に意識を変えるクラブに

【各教室の今後の目標】

- グラウンドゴルフとサッカーは、今まで通りの楽しむサークル活動やスクールで会員を増やしていこうと思います
- SUP&SUPヨガ教室は、現在7月から9月下旬のサマーシーズンのみで行っております。今後は年間を通して行えるよう工夫をしてみようと思います（例えばウエットスーツの用意、温水プールでの練習など）
- ストリートサッカーは、本県総合型地域スポーツクラブのネットワークを活用し、クラブの連携事業として各市町の商店街でのイベント展開を考えています

クラブのミッションは「幸せを増やす唯一の方法は、それを分け与えることだ」です。これからもクラブの魅力を積極的に発信することで、「時間がないからスポーツができない人たち」の意識を「時間をつくってスポーツをする人たち」に変えていくクラブとして成長したいと考えております。そして、新しい何かを見つけて、それに賛同する仲間とともにクラブライフを楽しみたいと思いません。

（一般社団法人アイランズスポーツクラブ 代表理事 田原 幹文）

クラブプロフィール

設立年月日	平成19年6月16日（平成28年12月5日法人登記）
所在地	長崎県佐世保市ハウステンボス町
運営	会員数253名（令和3年7月現在）、予算規模250万円（令和3年度）
特徴	地域社会において、協調的精神や、親しみやすさ、やりがいの他、様々な発展の機会があることで知られるスポーツクラブです。
連絡先	〒859-3243 長崎県佐世保市ハウステンボス町15-6 TEL 090-2096-9110 URL https://islandssportsclub.com/ E-mail islandsfc@yahoo.co.jp